



広報

5

特集 2~3面

新たな可能性を求めて!!
自治センターがスタートしました

2009

May

平成21年5月1日発行 第592号

CONTENTS



- 6 街かど探検隊
- 8 ごんにちは みんなの広場
- 10 宝物をさがして
- 11 国保だより ほか
- 12 食改さんのちょっとひと工夫 ほか
- 13 カレンダー ほか
- 14 小さな美術館 ほか



さくら



すげ



うき

街かどから



ドキドキ!! 新一年生!!

4月6日、町内8つの小学校と2つの中学校で入学式が行われ、154人が小学校に、143人が中学校に入学しました。

【写真上】入学児童呼名の様子(沢田小学校)

【写真下】石川交通安全対策協議会等から入学児に防犯グッズが配られました。(写真は石川小学校)

新たな可能性を求めて!!

自治センターがスタートしました



第5次総合計画スタート

4月1日からスタートした石川町第5次総合計画は、「みんなが主役協働と循環のまち」を町の将来像に掲げ、町内6地区がそれぞれに策定した「地区まちづくり計画」の実践と、「ORAHO（おらほ）のまちづくりプロジェクト」による地域自治の推進を自主としています。この計画を実現させるためには、住民の皆さんと行政が共に力を合わせ、協働のまちづくりを進めることが大切です。

住み良い地域を目指して

少子高齢化の進行や人口の減少により、地域コミュニティの衰退が予想されますが、町では、町民のみなさんが共に助け合い、支えあえる地域社会をつくり、地域が元気になることで、それらの課題を乗り越えられると考えています。そのためには、住民の一人ひとりが地域づくりに関わりを持ち、石川町に住んでいてよかったと思える誇りある町をつくる必要があります。

公民館から自治センターへ

公民館は、社会教育施設として生涯学習を中心に事業展開をしていましたが、近年、社会教育施設の枠を超えてミニサービスなどの福祉事業に関わっている公民館もあります。

今年の4月から地区公民館を生涯学習にとどまらず、地域づくり事業についても大きな役割を担えるように、「自治センター」としました。自治センターは、従来の公民館ではできなかった幅広い活動の場として期待が持たれます。

地域の元気が まちの元気に

地域の元気は、そこに住む人々が自信と誇りを持ち生活することで得られるものと考えています。地域が元気になるれば町も元気になる、元気がある町には人が集まります。

町では、みんなが楽しく住める住み良いまちづくりの第一歩として、自治センターを町民のみなさんとも共に活かしていきたいと考えています。

石川自治センター

センター長
丹内 則夫さん
(当町)



急速な高齢化社会と様々な格差によって地域も大きく変貌しつつあります。残したいものの、伝えたいものを大切に今こそ生きがいのある地域の構築を目指し、自治センターを拠点として邁進する決意です。

各自治センター職員紹介

事務長
芳賀 正人さん
(当町)



地域住民の皆様と共に楽しく事業を取り組んでまいりたいと思います。「まず、頑張ります。次に、心合わせ。そして、力合わせ。」を合言葉に、自治センター運営に邁進したいと存じますので、よろしく願います。



山崎自治センター

センター長
田子 育良さん
(山形字大下)



生涯学習時代にふさわしい自治センターを目指し、
「集まれる環境づくり」を重点に「地域住民が、自ら学び、自ら行動し、楽しく明るい、生き甲斐のある生活」を目指しながら、文化財の保護、観光地を生かした地区民参加の地域づくりの拠点施設にして行きたいと思っております。

事務長
滝川 長二さん
(中田字宮後)



この度、各地区の公民館が自治センターと改められ山崎自治センターへ事務長として着任しました。
近年のこの世界的な状況、少子高齢化と人口減少の環境の中で、町づくり、地区づくりの地域コミュニティの拠点となるよう、皆様と共に頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

母畑自治センター

センター長
福田 敏夫さん
(南町)



「集まれる環境づくり」を重点に「地域住民が、自ら学び、自ら行動し、楽しく明るい、生き甲斐のある生活」を目指しながら、文化財の保護、観光地を生かした地区民参加の地域づくりの拠点施設にして行きたいと思っております。

事務長
永沼 悟さん
(湯郷渡字浮庭)



地域の足元を見直し再発見し、共に学び共に楽しむ。また、世代や時代を超えて、みんなが先生、みんなが生徒、
どうか、気軽に立ち寄り、声をかけて下さい。皆さんのご支援、ご指導、よろしく申し上げます。

沢田自治センター

センター長
郷 征弘さん
(新屋敷字新覚)



「集まれる環境づくり」を重点に「地域住民が、自ら学び、自ら行動し、楽しく明るい、生き甲斐のある生活」を目指しながら、文化財の保護、観光地を生かした地区民参加の地域づくりの拠点施設にして行きたいと思っております。

事務長
近内 泰一さん
(塩沢字池ノ入)



地域の皆様と親しまれ、活気ある学習の場、交流の場として、また、地区まちづくり事業の支援拠点として、自治センターがその機能を発揮できるよう協力しながら努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

中谷自治センター

センター長
根本 忠さん
(双里字白坂下)



中谷公民館の施設利用者は年間25,000人に上ります。このことは、これまでの公民館活動に対する地域の皆様の積極的な姿勢を裏付けるものです。今後も皆様の英知を最大限に結集できる環境を整え、魅力あるセンター運営に努めて参ります。

事務長
根本 重泰さん
(坂路字川平)



各自治センターを拠点とした地域づくりに参加したいと考え事務長に応募しました。公民館から自治センターへ移行しても、利用者の皆さんに「不便をかけないよう努力します。お気軽にお立ち寄りください。」

野木沢自治センター

センター長
二瓶 匡さん
(中野字悪戸)



野木沢自治センターは、地区民多くの方々が楽しく参加し、集い、使用できるよう、その雰囲気づくり、環境づくりに努めて行きたいと思っております。何事も、一所懸命、その時、その場を大切に、みんなが英知を出し合い行動し、実行していくことを目指して参ります。

事務長
石森 勝彦さん
(塩沢字割田作)



まず、センターに気軽に来館して頂き「集う」お茶を飲みながら何でも話を聞かせてもらう「環境づくり」その話の内容から何をやりたいのか「作る」どうすればよいのか「学ぶ」をみんなが意識し協力し、町づくりの推進に前向きに向かおうと努力して行きたいと思っております。

中谷文庫の紹介

中谷文庫は、昭和53年に「子ども達に本を多く読んでもらいたい」と開設され、昨年30周年となりました。親と子の読書会活動、読み聞かせ、本の紹介等を行っています。自治センターに移行しても、読書会などを継続して行いますので、お気軽にお立ち寄りください。



▲中谷文庫指導員の吉田典子さんと子どもたち

各体育施設の使用申請場所が 石川町公民館に変わりました

町民グラウンド、総合体育館、クリスタルパーク多目的広場、武道館の使用申請は、これまで教育委員会生涯学習係が窓口でしたが、4月からは石川町公民館（体育振興係）となりました。

また、総合体育館・クリスタルパーク多目的広場については、従来どおり総合体育館でも使用申請をすることができます。

なお、体育施設の使用申請受付は、次のとおりです。

受付対象施設	受付場所	受付日	受付時間
・石川町体育館 ・石川町民グラウンド（野球場含む） ・石川町武道館 ・総合体育館 ・クリスタルパーク多目的広場	石川町公民館	月～金曜日 （祝祭日を除く）	午前8時30分 ～午後5時15分
・総合体育館 ・クリスタルパーク多目的広場	総合体育館	火～日曜日 （但し、月曜日が祝祭日となっている場合は開館し、火曜日が休みとなります。）	午前9時 ～午後9時

お問い合わせ先

●石川町公民館 ☎26-2566

●総合体育館 ☎26-8038

町 職員の人事異動

担当職員が変わりました

町では4月1日付で職員の定期異動を行いました。また、3月31日付で8人の職員が退職しました。異動した職員は次のとおりです。なお、（ ）内は旧所属となります。

総務課 ▶ 課長補佐・根本美智夫（課長補佐兼総務係長）、主任主査兼総務係長・添田祐司（企画調整課）、主任主査兼政策推進係長・首藤剛太郎（主任主査兼係長（政策推進担当））、主査・鈴木茂彰（企画調整課）、主査・迎 茂城（保健福祉課）、主査・鈴木辰也（総務課）、主事・佐久間祐樹（新採用）、主事補・宗万友美（新採用）

地域づくり推進課 ▶ 課長・瀬谷寿一（企画調整課）、主幹兼課長補佐兼まちづくり推進係長・有賀英宏（養護老人ホーム長生園）、課長補佐兼管理係長・志賀正敏（企画調整課）、主査・佐川正美（企画調整課）、主査・水野憲一（郡山地方広域市町村圏組合派遣）、主事・西牧佳子（企画調整課）、主事補・鹿岡ますみ（新採用）

税務課 ▶ 課長補佐兼課長補佐・西倉重典（企画調整課）（昇任）、主事・小松昇一（新採用）

町民生活課 ▶ 課長・小松弘喜（総務課）（昇任）、課長補佐兼国保年金係長・鈴木秀夫（税務課）、主任主査兼町民係長・吉田浩子（農業委員会事務局）、主査・瀬谷利幸（企画調整課）、主査・大竹 実（企画調整課）

保健福祉課 ▶ 主任主査・秋山晴彦（保健福祉課）（昇任）、主査・草野竜彦（総務課）、主査・渡辺祥子（教育課）

産業振興課 ▶ 課長・南條武義（中央公民館）（農業委員会事務局長併任）（昇任）、課長補佐兼農政係長・吉田浩子（主任主査兼農政係長）（昇任）、主任主査兼商工観光係長・佐川正人（都市建設課）、主任主査・鈴木正浩（産業振興課）（昇任）

都市建設課 ▶ 課長・鈴木正博（石川町地方生活環境施設組合派遣）、主任主幹兼課長補佐兼都市整備係長・小林 安（主幹兼課長補佐）、主査・栗谷昌男（教育課）

会計室 ▶ 会計管理者兼室長・三瓶信一（産業振興課）

養護老人ホーム長生園 ▶ 主幹兼園

お気軽にご相談ください

行政相談委員に諸岡さん・竹島さんが再任、
人権擁護委員に郷さんが委嘱されました。

まちの行政相談委員

平成21年4月1日付で行政相談委員に、諸岡節男さん（下泉）、竹島君さん（高田）が再任されました。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国及び特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進する

よう相談に応じています。毎月一回土曜日に、石川町公民館で定例行政相談を行っています。詳細な日程は、毎月「行政だより」に掲載していますので、行政機関等に対するご意見・ご要望などがあればお気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は厳守されます。

よう相談に応じています。毎月一回土曜日に、石川町公民館で定例行政相談を行っています。詳細な日程は、毎月「行政だより」に掲載していますので、行政機関等に対するご意見・ご要望などがあればお気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は厳守されます。



諸岡 節男さん
字下泉 198-1
☎ 26-1460



竹島 君さん
字高田 117
☎ 26-0602

人権擁護委員

平成21年4月1日付で、郷信子さんが人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。

人権擁護委員は、みなさんの人権が侵害されることのないように、見

守り活動や人権問題に関する相談、自由人権思想普及のための啓発活動などを行っています。

人権侵害などの人権問題で悩んだ場合はご相談ください。



郷 信子さん
(新屋敷字新党)
☎ 26-0652



みなさん
よろしくお願ひします



新しい町職員を紹介

4月1日から町職員として採用され、勤務することになりました。

左から、鹿岡ますみ、佐久間祐樹、江尻貴広、小松昇一、宗方友美です。

町民の皆様から信頼される職員になれるよう頑張りますので、ご指導、ご協力をよろしくお願いします。

長・近内 康（町民生活課）、主査・緑川喜輝（昇任）、主任主査兼支援員・長田禮子（昇任）
教育課▼課長補佐（兼務町史編集室長補佐）・矢内辰郎（課長補佐兼温水プール所長兼総合体育館館長兼武道館長）、課長補佐兼総務係長・大賀俊昭（主任主査兼総務係長）（昇任）、主事・江尻貴広（新採用）
教育課（公民館）▼公民館長兼歴史民俗資料館館長兼勤労青少年ホーム館長兼体育施設長・三森孝則（中央公民館）、主任主査兼生涯学習係長・矢吹重雄（教育課）、主任主査兼体育振興係長兼勤労青少年ホーム係長・二瓶伸一（中央公民館）、主任主査・根本克彦（中央公民館）（昇任）、主査・矢吹 進（総務課）、主査・角田 学（教育課）主事・小針雅也（中央公民館）
教育課（歴史民俗資料館）▼主任主査兼歴史民俗資料館係長・近内栄晴（産業振興課）
石川小学校▼主任主査兼調理師・有馬延次郎（昇任）
石川中学校▼主任主査兼調理師・鹿岡みや子（昇任）
農業委員会事務局▼主任主査兼庶務係長・矢内忠男（町民生活課）
水道事業所▼所長・庭野英宏（県中地域水道用水供給企業団派遣）
【簡易水道担当所長併任】、主任主査・芳賀 隆（昇任）
福島県後期高齢者医療広域連合派遣▼主任主査兼係長・高原 茂（町民生活課）（昇任）
退職者▼丹内春夫、板橋重徳、熊田誠、吉田宗茂、長田美穂子、瀬谷和子、近藤トシ子、渡辺ミサ子



街かど探検隊

本を読むことの楽しさを 浜中順子さんが中二小で読み聞かせ

3月12日、中谷第一小学校で、福島テレビの浜中順子さんによる本の読み聞かせが行われました。
今回の読み聞かせは、2月に石川郷土かるた会を使用した授業を取材させてもらったお礼として行われ、絵本「きかんしゃやえもん」の朗読のほか、「話すことは難しくないと題して、声の出し方による感情の表現方法、発音の仕組みなどの説明もありました。」
浜中さんは、子どもたちに本を読むことの楽しさを伝えたいと9年前から県内の小学校を訪ねており、今までに百校を超える学校を訪れています。
子どもたちは、アナウンサーによる絵本の朗読に、目を輝かせながら聞き入っていました。



南條さん 海外青年協力隊員としてチュニジアへ

3月19日、南條昌子さん（坂路字馬場宿）が町長室を訪れました。
南條さんは、平成20年度第4次隊青年海外協力隊として、平成21年3月から平成23年3月までの2年間チュニジア（アフリカ）に派遣され、現地では、今までの医療分野での経験を生かし、体に障がいを持っている方のリハビリテーションを担当し、機能向上や社会への適応能力育成を支援します。
南條さんは、「自分も相手もお互いが笑顔でいられるように楽しんでやってきたい」と笑顔で抱負を述べました。



全国大会で健闘!! 出場者激励!!

3月18日、役場第二会議室で、各種全国大会出場選手激励会が行われました。
平成20年度第32回全国高等学校ハンドボール選抜大会（3月25日～30日、徳島市）に県立石川高校女子ハンドボール部14名が、平成20年度第4回春の全国中学生ハンドボール選手権大会（3月25日～29日、富山県氷見市）に石川中学校ハンドボール女子部16名が、第15回日本リトルシニア全国選抜野球大会（3月27日～4月3日、大阪府）に石川中学校野球部4名が出場しました。また、第56回全日本都道府県対抗シニアリーグス・リードスケート競技会（3月6日～8日、長野県佐久郡南牧村）に出場した学芸石川高校3年山田翔太郎さんから「納得したレースができた」と出場報告もありました。



新入学児に携帯防犯ブザー贈呈 地元の企業として貢献したい

3月31日、町長室で、八幡屋の渡辺忠栄社長から町に防犯ブザーが贈られました。

ブザーの贈呈は、八幡屋25周年記念事業の一環として昨年から行われているもので、今年も新入学児童に160個の防犯ブザーが贈られました。

渡辺社長は、「25周年の記念に地域に貢献したいと思い、昨年からブザーの贈呈を行ってきました。これからも地域の企業として頑張り貢献していきたいと思います」と贈呈のあいさつを述べました。



石川町をさくらの郷に 映画「さくら」上映会開催

3月21日、共同福祉施設で、映画「さくら」の上映会が開催されました。

この上映会は、この映画を通してさくらの郷づくりプロジェクト成功の一助となればと、NPO法人ウエーブゆい（斎藤英幸理事長）がさくらの郷づくりを支援する会として開催したものです。また、講演では神山征一郎監督、脚本家加藤伸代さんがこの映画に込めた思いや制作秘話などを話しました。

さらに、第5次総合計画まちづくりプロジェクトのひとつである「さくらの郷づくりプロジェクト」について情報提供も行われ、これからのまちづくりに繋がる上映会となりました。



学法石川高校が4位入賞 東日本高校強化ハンド

4月3日～5日、総合体育館でふくしま国体記念第14回東日本強化ハンドボール大会が開かれました。

この大会には、関東地方以北の16校227人が参加し、学法石川高校ハンドボール部の本田敦史主将の選手宣誓で幕を開けました。

学法石川高校は、埼玉栄高を31対20、横浜創学館高を30対21で破り勝ち進みました。準決勝で札幌真栄高に、3位決定戦で藤代紫水高に惜敗したものの、強豪校が参加する大会で4位入賞を果たしました。



事故ゼロを目指して 春の交通安全運動出動式

4月3日、石川警察署で、春の全国交通安全運動出動式が行われました。

出動式は、石川祭りばやし保存会の太鼓の演奏で始まり、交通安全協会会長、交通安全対策協議会長、石川警察署長のあいさつがあった。石川地区交通安全協会 小玉副会長の「石川郡内から悲惨な事故を減らしたい。」との出動報告で、各団体が交通事故ゼロを心に誓い出動しました。

また、出動後には、国道118号線沿い字塩ノ平地内で、交通安全関係団体が交通安全啓発グッズを配布し、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

青春… 真ん中 Q&A



職業▶中島村にある富士工業株式会社に勤務しています。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

A 地元のフットサルチーム「ISHIKAWA.FC」で毎週2回練習に励んでいます。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください

A 全国で通用する選手になることです。また、実家が飲食店を営んでいるのでしっかりと実家を継げるようになりたいです。

鈴木 正幸さん(20歳)●字石田

Q 将来どんな町になって欲しいですか

A お年寄りや小さい子どもでも安心して暮らせる温かい町になって欲しいです。

Q 最後に理想のタイプは

A 思いやりがあり常に笑いの絶えない明るい家庭を築ける人がタイプです。

▶次回は、鈴木さんの紹介で曲山智佳さんです。

みんなの広場



生きがいとして和牛を手塩にかけ育てています

AQAQ
お子さんは何人ですか
子どもが3人、孫が6人になりました。
結婚されて50年、思い出を聞かせてください
私たちは、昭和33年に結婚し、結婚した頃は米、麦、養蚕などの農業で生計を立てていました。春蚕の時期は、田植えと重なるため夜まで給桑に励んだことが思い出されます。その後、食糧生産が過剰の状態になり、農業で生活することが難しくなりました。兼業農家に転身することを決め、大井製作所に勤務しました。20年間の会社勤めを終えて現在は、和牛の繁殖を生きがいとしています。夫婦で手塩にかけて育てた子牛を市場に出荷するときは可愛さで喜ぶでいっぱいです。
また、退職後は二人で行く温泉旅行も趣味になりました。なかでも、二人で行った

ほのぼの 二人三脚 (Q&A)



氏名：相楽 貞男さん (76歳)

節子さん (71歳)

住所：双里字双里

AQ 四人一周の旅は、旅館も景色も良く今でも心に残っています。
AQ お二人の楽しみは何ですか
貞男：白濁り温泉巡りも好きですが、小唄も好きで宴会で披露することが好きです。
節子：舞踊が好きで芸能祭、文化祭、敬老会に出演するために練習に励んでいます。
AQ 石川町の一番好きなところを教えてください
春の歓喜を乗せて桜花爛漫に咲き誇り、街の表裏を一段と美しくしてくれる今川・北須川の桜が好きです。
AQ 町政に望むことは何ですか
若い人たちが安心して働ける企業の誘致をお願いします。

HAPPY SMILE

ハッピー

スマイル



酒井 柚ちゃん
(6ヶ月)



酒井 心くん
(6ヶ月)

「愛嬌良く2人でニコニコの笑顔を見ていると幸せな気持ちになります。2人とも笑顔で元気に育ってね。」

大輔パパ・由美ママより 山形字松森

- 「ハッピースマイル」と「集暖」では参加してくれるお子さん(3歳以下)、グループを募集しています。
お気軽にお問い合わせください。石川町役場総務課 26-2111
- ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。
Koho_k@town.ishikawa.fukushima.jp

こんにちは



▲石墨会展第2回展の様子



▲水墨画教室開講式の様子

- 開催日：毎月第2日曜日
13:30～15:30
- 場所：石川町公民館
- お問い合わせ先
石川町公民館
☎ 26-2566

◀サークル紹介コーナー▶第50回

▶石墨会
会員の作品

水墨画は、墨の濃淡のみで表現する奥深い芸術です。初心者も気軽にできますので、興味のある方は、是非ご参加ください。



水墨画教室は、石川町公民館と石墨会が共催し、昨年から開催している教室です。石墨会は、石川地区の「墨彩四季の会」、野木沢地区の「遊墨会」、沢田地区の「沢墨会」の3地区の水墨画の会が合同で発定した会で、今年2月には「石墨会第2回展」を開催しました。
今年度の水墨画教室では、蘭・竹・菊・梅の「四君子」の習得のために学習し、文化祭や石墨会展への出品を目指し毎回の課題に取り組んでいきます。
教室は、グループに分かれて、それぞれの力量に応じてお互いが教え合い、学び合う共同学習形式で進めるため、初心者も気軽に参加できる内容となっています。また、移動研修では、他地区の水墨画展の鑑賞や自分の絵を作る模製作所見学を予定しています。

しゅう だん
あつ あたた
集 暖
まれば かい

水墨画教室

『いしかわのじかん』って何？

児童生徒が各家庭において、テレビを消しゲームやメールなどを一定時間行わないことで「望ましい学習環境づくり」を推進するものです。

具体的には「ノーテレビ、ノーゲーム、ノーメール」を目標に、週3回、1回につき2時間を目標に宿題や読書を行うほか、家族との対話などの時間として「いしかわのじかん」と名付けました。

平成20年度は、すべての小・中学校で試行的に取り組み、小学校で約87%、中学校で約79%の家庭で実施され、保護者からは「子どもとのふれあいが持てた」「学習や読書の時間が増えてよかった」という声が寄せられました。平成21年度は、町内の小・中学校10校において、PTA、学校、教育委員会が連携し共同実施します。将来的には、町ぐるみで推進することを目指しています。

『いしかわのじかん』宣言

石川町PTA連絡協議会、町内各小中学校、石川町教育委員会

みんなでつくりだそう

望ましい家庭環境・学習環境づくり

「い」→ いい じかん
 「し」→ しずかな じかん
 「か」→ かぞくの じかん
 「わ」→ わたしの じかん

● ふれあい
 ● 語らい
 ● 読書
 ● 勉強
 ● 趣味
 ● 省エネ
 …

時間は有限！
 ちょっと
 消してあるだけで…
 新しい何かが始まります！！

そのために
 実践します

ノーテレビ・ノーゲーム・ノーメールデー

ノーテレビ・ノーゲーム・ノーメールデーとは？

○家族全員で、週に3回、曜日、時間を決めて、
 テレビを消し、ゲームやメールをしない日。

メディア文化との
 正しいつきあい方も
 生きる力です。



宝物をさがして〜 ③

なかのうちに
中ノ内のフジ

北山形字中ノ内

北山形字中ノ内に、福島県天然記念物に指定されている「フダフジ」の巨木があります。樹齢約300年と伝えられており、その規模は樹高13m、胸高周囲1・3mほどです。県内には郡山市田村町の「大善寺のフジ」がありますが、フジの大木は少ないため、このフジは県内屈指のものと云えます。



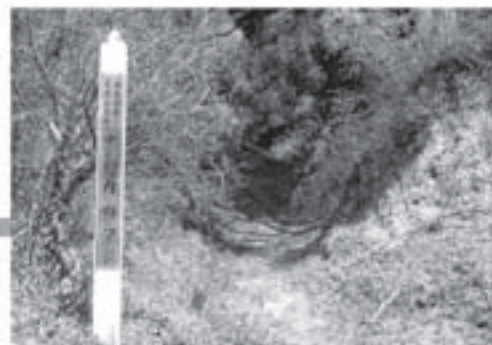
▶「北山形入口」バス停から北山形方面へ。



▲県道赤坂西野・石川線を鮫川村方面へ向かいます。



▶桜と杉に巻きつきながら伸びている姿は圧巻です。5月中旬が見頃です。



▲「中ノ内のフジ」の標柱が見えたらもうすぐです。

----- 平成21年4月診療分から ----- 石川町子ども医療費の助成対象が拡大されました

平成21年4月診療分より、小学校就学前としていた「乳幼児医療費助成事業」の助成対象年齢を、中学就学前までの児童（12歳に達する日以後の最初の3月31日までにあるお子さん）に拡大し「子ども医療費助成事業」としてスタートしました。これに伴い、中学就学前（小学6年生）までのお子さんの医療費自己負担はなくなります。

国民健康保険に加入されている方

医療機関等の窓口で「保険証」を提示してください。

社会保険等に加入されている方

医療機関等の窓口で「保険証」及び「子ども医療費受給資格者証」を提示してください。



(1) 助成の対象とならない費用

- ① 保険診療対象外（自費）の費用
保険外併用療養費、診断書や証明書料、健康診査料、おむつ代、ベッド差額料、お薬の容器代 など。
- ② 高額療養費、付加給付金等に該当する部分
- ③ 交通事故や学校内事故等の第三者行為によるケガ等の治療に該当する場合
(損害保険や自動車保険等で保険診療医療費が補われる場合など。)

(2) 次の場合は届け出が必要です。

- ① 子どもの加入している健康保険証に変更があったとき。
- ② 住所・氏名・保護者などに変更があったとき。
- ③ 受給者証を紛失・破損・汚した場合などは、再交付の申請をしてください。

(3) 受給者証を返却していただくとき。

- (受給資格が失われるとき。)
- ① 町外へ転出する場合。
- ② 健康保険の資格がなくなった場合。
- ③ 生活保護受給世帯になったとき。

地域のネットワークで

みんなが安心！元氣！！

みんなの 話・和・輪

みんな笑顔で元氣にサロン！！
介護状態にならないために！

4月に、介護予防運動を目的としたサロンが、新たに新町・当町・松木下でスタートしました。

サロンは、集会所などみなさんが歩いていける身近な場所で行っています。ご近所の皆さんと交流したり、一緒に運動したりすることで、体力や筋力の低下を防止できます。また、定期的に外出するため、閉じこもりや介護状態になることを予防できます。

サロンに1年以上参加している方からは、「家事や家の周りのことなどできることが増えた」「歩くのが楽になった」「近所や仲間との交流が増えた」「よく笑うようになった」など、効果を実感している声が聞かれます。また、新たな交流やサロンでの役割ができるなど、自然に人と人との輪が広がっています。



▲みんなで元氣に体操!!

食改さんの^{ちょっと}ひと工夫!

大根と水菜のサラダ

材 料 (5人分)

水菜	60g
大根	250g
ミニトマト	5個
じゃこ	50g
<ゴマドレッシング>	
練りゴマ(白)	大さじ2
酢	大さじ3
ごま油	小さじ2
A 砂糖	大さじ1 1/2
すりゴマ(白)	小さじ2
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1

●作り方

- ① 水菜は根元を切り落とし、きれいに水で洗い3cmの長さに切り、さっと熱湯をかける。
- ② 大根は洗って皮をむき、薄く輪切りにスライスしてから細い千切りにし、軽く塩でもむ。(さっとでよい)
- ③ ミニトマトは洗って半分に切る。
- ④ じゃこはさっと乾煎りしておく。
- ⑤ ボウルにAを入れて、よく混ぜ合わせてゴマドレッシングを作る。
- ⑥ ①、②、④をボウルに入れて、混ぜ合わせる。
- ⑦ 器に盛り付け、⑤のゴマドレッシングをかける。または、和えて③のミニトマトを飾る。



●食改さん一言

ドレッシングを手作りすることで、油の量や砂糖の量を調整できるのでヘルシーです。健康には野菜をたくさん食べることが大切ですが、市販のドレッシングを多くかけてしまうと、かえって脂質や糖質をとり過ぎてしまうことがあります。冷蔵庫で保存すれば1週間は持ちますので、自家製のドレッシングを作って季節の野菜に合わせてみてください。

●栄養士から一言

健康な体をつくるには、1日350gの野菜を食べることが大切です。野菜をとる方法にサラダやお浸しなどがありますが、市販のドレッシングは脂質や糖質が多く含まれているためカロリーを摂り過ぎることがあります。好みに合わせて、和風や中華など手作りドレッシングを作ってみましょう。

こころの健康相談会

保健センターだより
第50回

～ひとりで悩まずに まずは相談することから～

私たちは、誰しもいろいろなストレスを抱えているものです。しかし、そのストレスが長く続いたり、いくつかのストレスが重なったりすると、心も体も疲れきってしまい、出口がないように感じてしまいます。

うつ病は、心身のエネルギー(元気)がなくなってしまう病気です。ストレスも原因の一つで、約7%の方がかかると言われています。しかし、病気になっても、我慢してしまって受診が遅れてしまうことも多く、周りの人が悩みを聞いてしっかり受け止め支えてあげることが大切です。そして、病気のサインに気付いたら心配していることを本人に伝え、相談することを勧めてください。

「みんなストレスを我慢しているのだから自分も我慢すべきだ。」「悩みは一人で解決しなければならない。」「どうしようもなくなってから相談すればいい。」

こんな風に考えてしまっていないですか？

あなた自身のためにも、そしてあなたの大切な人のためにも、まずは悩まずに相談してください。

保健センターでは、今年もこころの健康相談会を開催します。相談は無料で、秘密は厳守します。

なお、相談は、予約制になりますので、事前に電話等でご予約ください。

- 日時 第1回 平成21年6月17日(水)
第2回 平成21年9月9日(水)
第3回 平成21年12月16日(水)
第4回 平成22年2月17日(水)

※各回とも午後2時から午後4時まで

●内容 コスモス通り心身医療クリニック
園口 博史院長による相談及び
助言指導

●場所 保健センター

●お申し込み・お問い合わせ先
保健センター ☎26-8416



(平成21年3月1日～3月31日まで届出分 敬称略)



こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
二瓶 紗奈	(光 司・祐)	中野
角田 優真	(剛・遥佳)	湯郷渡
野内 愛菜	(裕美・智恵美)	大字新藤
鈴木 華恋	(征博・尚子)	山形
小湊 透春	(康成・珠実)	形見
水野 圭翔	(亮一・幸子)	中田
西牧 奎登	(俊春・典子)	長久保



カップル誕生

新郎新婦(出身地)

遠藤 恒男(中田)	久保木ヒロ子(須賀川市)
佐藤 恵太(中野)	須藤 愛美(中野)
川崎 一夫(母畑)	藤田 恵子(母畑)
添田 裕太(母畑)	水野谷 唯(中島村)



おくやみ

氏名	住所
矢内 由房	板橋町
西牧 茂直	新中田
遠藤 一博	中田
曲山 國太郎	塩板
蛭田 八郎	板橋
中加 武四郎	山中
高藤 俊行	松木下
野原 與志雄	立ヶ岡
根本 榮次	沢井
遠藤 八重子	北町
瀬谷 正二	中田
熊谷 田子	沢井
大添 富子	ノ内
宮野 本三	山形
野渡 敏一	北山
中久 島ト	沢井
添有 松力	白双
	矢野
	石里

CALENDAR

石川町5～6月の主な予定

5月●May

15◎		
16±		
17◎	在宅当番医	とりこえ整形外科
18◎		
19火	1歳児健診(9:45～)	保健センター
20水		
21木	社会保険事務所年金相談会 (10:00～15:00)	勤労青少年ホーム
22◎		
23±		
24◎	在宅当番医	ひらた中央病院
25◎	心配ごと相談(10:00～15:00)	老人福祉センター
26火		
27水		
28木		
29◎		
30±		
31◎	在宅当番医	味原医院

6月●June

1◎		
2火		
3水		
4木	1歳6ヶ月児健診(13:00～)	保健センター
5◎	ババママクラブ(18:45～)	保健センター
6±		
7◎	在宅当番医	大野診療所
8◎		
9火		
10水	ポリオ集団接種(12:30～)	保健センター
	2歳児教室(9:45～)	保健センター
	心配ごと相談(10:00～15:00)	老人福祉センター
11木	3～4ヶ月児健診(13:00～)	保健センター
	BCG予防接種(13:00～)	保健センター
12◎		
13±		
14◎	在宅当番医	富永医院(浅川町)

今月の納期 ●5月25日(月)までに納めましょう
固定資産税(第1期)

小さな美術館

第266回

山形小学校

【編集後記】

春は白鷺、秋にはもみじと四季折々の美しい自然に囲まれた中で、全校生22人が仲良く協力して元気いっぱい生活しています。俳句づくりも盛んで、美しい自然の中からたくさんのお名句が生まれています。

「どうぶつさんとあそんでみたいな」



たくみ
緑川 匠さん(2年)

ぞうさん、ねずみさん、きりんさん、ライオンさんにえさをやっているところです。だいすきなどうぶつとあそんで、とってもたのしいです。

「海の中のお友だち」



れいな
木戸 玲菜さん(3年)

山形小学校の3年生のお友だちみんなと、海の中で楽しくあそんでいるところです。にじ色の魚たちなどクレヨンで色を重ねてそめました。

「キリンにのって」



ゆうか
木戸 優香さん(4年)

自然の中で仲良しの友だちとキリンの背中に乗って、楽しく遊んでいる様子を描きました。キリンの模様を描く事が少し大変でした。

「ぼくたちのきらきら星」



かい
酒井 海さん(5年)

将来がこのような世界になって、植物も人間も仲良くなったらいいなと願い描きました。

編集後記

ホームページ用に鑑賞の時から校の写真を撮りました。昨日まで鑑賞した校があったという間に花開いていく姿には驚きました。満開の桜は毎年ほんのわずかな時間しか見られないのに、その美しさはあつという間に去りゆくもの。三日見ぬ間の桜一、短い時間が満開の姿を見せないからこそ美しいのでしょう。皆さんは今年の満開の桜を堪能できたでしょうか。(矢内 清香)

町民憲章

1. 自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
1. 親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
1. 歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう

みんなの防犯 子ども防犯呼びかけ隊

●今月の隊長(広報無線の声)

山形小学校6年 小豆畑 美雪さん



- 毎日の通学などで防犯に気をつけていることは？
- A. 万が一被害にあった時、防犯ブザーをすぐ鳴らせるように、紐をつけ首からかけています。
- 将来の夢を聞かせてください。
- A. 小さい子と遊んだり話したりすることが好きなので、保育士になりたいです。

表紙の 登場人物

第二保育所に通う林 純也(じゅんや)くん(右)、聖人(まさと)くん(左)、祖父の保夫さん、祖母の高菜子さんです。



町の人口

● 4月1日現在住民基本台帳 ●

17,996人 (△113)
男 8,801人 (△60)
女 9,195人 (△53)
世帯数 5,710戸 (△2)

()内前月比